

## 1歳6か月児健診の評価に関する調査

研究協力者および協力研究者

清水弘之, 松下陽子

### 研究の要約

1歳6か月児健診の有効性を評価するため、岐阜県T市において平成5年12月から平成6年2月までに1歳6か月の健診を受けた児の保護者に面接ならびに自記式の調査を行い、健診結果のあらゆる場合を想定して、その結果の安心度・満足度を調査した。その安心度・満足度と同市における健診受診率要精検率などから判断樹decision treeを完成させ、健診受診時の期待値と非受診時の期待値を比較したところ、1.2:1.0であった。また、上述の保護者は現在の健診の貨幣価値を約2,000円とみなしていた。今より詳細な健診を希望する者の割合は21%であり、そのために支払ってもよいと考える金額は約3,000円であると回答した。

見出し語：1歳6か月健診、安心度、満足度、判断樹、貨幣価値

### 研究の目的

わが国における乳幼児健診の普及度はきわめて高く、その母子保健に寄与した役割の大きかったことは想像できる。しかし、どの程度役に立ったかが数値で表現されてはこなかった。保護者が児の異常に気付けば比較的早期に診療のため近くの医療施設に連れて行くことが容易になったと考えられる現在、市町村あるいは都道府県の行うスクリーニングのための乳幼児健康

診査の有効性について評価を望む声があることも事実である。

何らかの方法で評価を試みようとしたが、ほぼ全員の乳幼児が健診を受けている現在、しかもほとんどの保護者がその有効性を信じている現在、無作為に2群に分けての前向き調査、後向きのケース・コントロール研究ともにほぼ不可能である。そこで、健診を受ける年齢の児を持つ保護者を対象に健診結果のあらゆる場合の安

心度と満足度を調査し、判断樹 decision tree を完成させることにより、健診受診の評価の一指標にしようとした。あわせて、今より詳細な健診を希望しているかどうかを調査し、現在の健診に対する評価の指標とした。

また、現在の健診の貨幣価値をたずね、実際に要している費用と比べることにより、保護者の健診に対する評価の一側面をうかがおうとした。

#### 研究の方法

岐阜県T市において平成5年12月から平成6年2月の間に1歳6か月の健診を受けた児を持つ保護者に、健診会場で面接または自記式の調査用紙を用いて調査を行った。調査の方法が2種類となったのは、市の会場等の都合から変更せざるを得なくなったものであり、面接による対象者75名、自記式による対象者49名、計124名を一括して集計の対象とした。また、面接は調査の目的の説明を受けた健診補助者が担当した。

安心度・満足度の調査にあたっては、健診で要精検となった場合精検に回るが真に異常である場合と実際には異常がない場合のあること、逆に健診で異常がないと判定されて本当に異常がない場合と実際は異常がある場合など、すべての組合せを示して、最終的なそれぞれの場合の安心度、満足度の5段階評価による回答を得た。一方、同市の平成3年度と4年度の健診受診率と要精検者の割合などの数値を得て、先の安心度・満足度の点数との組合せから判断樹を完成させ、健診受診時と非受診時の期待値を比較した。

また、現在の健診の貨幣価値をたずね、その

平均値・中央値を求めた。加えて、今よりも詳細な健診を希望するかどうかをたずね、希望すると回答した者の割合、ならびにその希望者のより詳細な健診への自己負担限度額をたずねた。

#### 研究結果の要点

◎現在の健診の貨幣価値は約3,000円と回答された。最低300円、最高5,000円。算術平均1,827円、幾何平均1,533円、中央値2,000円。

◎今より詳細な健診の希望者割合は21%であった。その場合の自己負担限度額は約3,000円であった。最低500円、最高10,000円。算術平均3,269円、幾何平均2,611円、中央値3,000円。

◎安心度による評価では、健診受診の期待値3.70に対して、非受診の期待値は3.10であり、その比は1.19であった。

◎満足度による評価では、健診受診の期待値4.29に対して、非受診の期待値は3.67であり、その比は1.17であった。

今後の課題の主なものは次の諸点である。

◎安心度・満足度の調査方法を改善しなければならない。

◎よりの確な最終指標を探る必要がある。

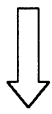
◎さらに大集団を対象とした調査や感度分析等により、予備調査としての本研究の不備を補う必要がある。

◎無作為割付比較試験が無理であるとしても、健診を受けない乳幼児の把握とその追跡、またこれら乳幼児およびその保護者の特性を調査する必要がある。

調査に協力いただいた関係各位に感謝します。



**検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



#### 研究の要約

1歳6か月児健診の有効性を評価するため、岐阜県T市において平成5年12月から平成6年2月までに1歳6か月の健診を受けた児の保護者に面接ならびに自記式の調査を行い、健診結果のあらゆる場合を想定して、その結果の安心度・満足度を調査した。その安心度・満足度と同市における健診受診率要精検率などから判断樹 decision tree を完成させ、健診受診時の期待値と非受診時の期待値を比較したところ、1.2:1.0であった。また、上述の保護者は現在の健診の貨幣価値を約2,000円とみなしていた。今より詳細な健診を希望する者の割合は21%であり、そのために支払ってもよいと考える金額は約3,000円であると回答した。